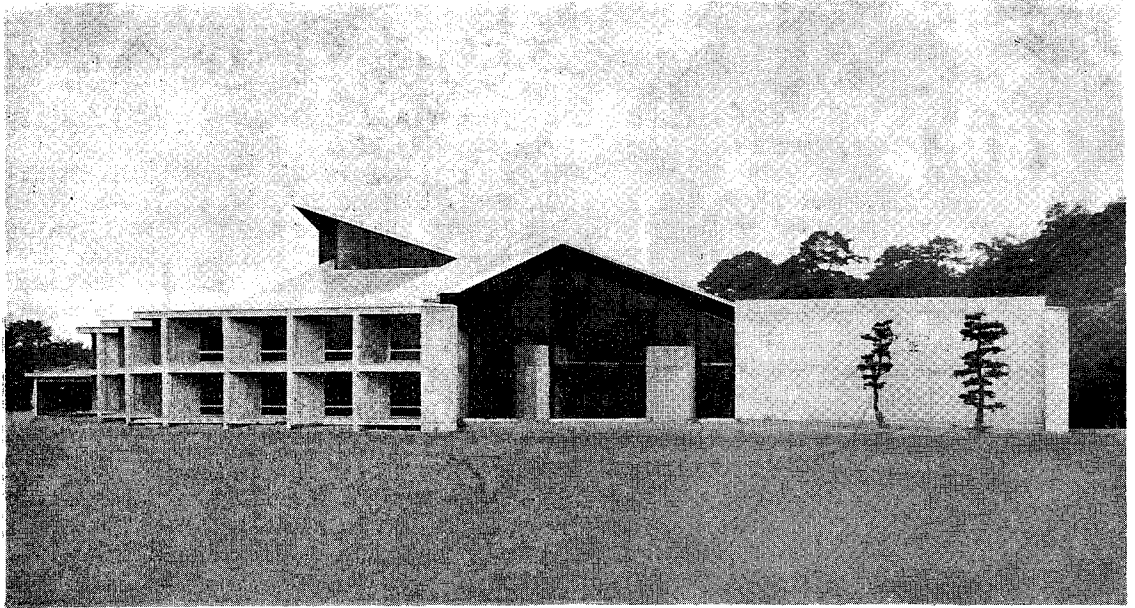


島根県立図書館報

図書館だより

題字 田部島根県知事

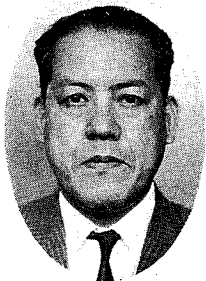
号数 第1号
発行日 昭和43年10月15日
編集 楫野健治
発行 島根県立図書館
松江市内中原町52
TEL (0852) 21-2101
印刷 渡部印刷株式会社



新装なった図書館全景

新図書館の落成にあたって

島根県教育委員会教育長 久津名等平



明治100年記念事業の一環として着工された待望の県立図書館の新館がここに落成しました。永い間の懸案であっただけに県民のみならずと共にご同慶にたえません。

松江城を背景に老松の緑につつまれ、堀の水面にうつる新装の姿は、まことに美しく、文化島根の象徴たるにふさわしいものと存じます。

新しい図書館は、環境にふさわしい建築美のみならず諸施設のすべてに斬新な構想と周到な工夫がこらされ、おそらく県立図書館としては出色のものではないかと存じます。この新築に寄せられた各方面のご努力とご好意に対し満腔の謝意を表する次第でございます。

また新館建築にあたり県民のみならず寄せられた数多くの激励とご援助に応えるべく、名実ともに近代図書館にふさわしい県民文化の殿堂として、その真価を発揮するよう努力するつもりでございます。何卒県民のみならずのご利用をお願いします。

創刊によせて

県立図書館長 楢野 健治



県立図書館の心像は、全く一新した。

白い躯体の上に高く突き出した屋根の雄勁・総ガラスでたち上がった玄関に射す光線・広いロビーから仰ぐ力強い梁・城山の濃緑とよどんだ堀の静寂と閲覧室の延展等々その強い印象がこれら近代建築の技術と美の象形だけに止まってはならないと思う。

たしかに、施設の面からは、旧館で直面したさまざまな溢路から全く脱皮することができるであろう。当局の立派な企画から完成された新設の図書館において、これから展開される活動こそが、すなわち新しい心像をつくり上げることになる。

長い伝統のうち蓄積されたよき文化財は、そのまま継承される。これに加えて地域社会で最も求められる資料を整える研究と県内のセンターとして位置づける図書資料を計画的に飽くことなく収集する努力を重ねなければならない。さらに大切なのは、積極的な伝達活動であり、自由に利用されるための奉仕である。

自動車文庫を主軸とする館外活動はそのまま図書館の延長である。市町村図書館との提携はますます重要になって来る。

「図書館だより」の刊行は、これまでもなく一致した願いであった。開館と共に創刊されるのも意義深いと思う。新着図書をはじめ資料の活発な紹介、図書館活動の情報と動静その他幅広い広報を行ない、県立図書館と利用者のパイプとしての役割を果たしたい。創刊にあたり今後一層関係方面のご協力をお願いする次第である。

新図書館の落成によせて

島根大学附属図書館長 大坪 併治

日本の出版業は盛んである。日本ほど本がよく売れる国はないという。本が売れるのは結構だが、あり余った金で買っているのではない。日本人は、無けなしの財布をはたいても、自分のものとして手許に置かないと落ちついて読めない癖があるらしい。その反面、学校や町の図書館は、施設も悪いし、本も少ないのが一般だ。どちらが原因で、どちらが結果か知らないが、悪循環には違いない。幸い、松江市には、今度りっぱな県立図書館が建ち、本もうんとふえることになった。

県立とはいっても、利用者は、松江市とその周辺の人々にかた寄るであろうが、できるだけこの新しい図書館に親しんで、自分の家で自分の本を読むのと同じように、落ちついて読書ができるようになってもらいたい。図書館の方も、学生ばかりでなく、一般の人々が、無けなしの財布をはたかなくて済むように、絶えず、施設の改善、図書の実充、環境の整備等に努力していただきたいものである。

県立図書館の新築を祝し

島根県学校図書館協議会長 音羽 融

読書の秋を迎え、深みゆく秋の音を聞きながら、じっくりと読書しようと思っている折から、いよいよ県民待望の島根県立図書館が城山の南西隅に誕生した。

かつての松江市図書館が県立図書館になり、城山内にその建物を新築する寄附の募集があった。当時能義郡にいた私は、学校として応分の寄附をしたことを覚えている。しかしこの建物も、しょせん終戦当事の副産物であり、新しい時代の要求には添っていかない。ここに21世紀のアイデアを生かした新図書館の誕生を見たことは、県民の1人としてこの上もない喜びである。どうか県立図書館が外観にもまさって内容的にも全国に誇る特色ある図書館になることを念願して止まない。

例えば、蘭学、切支丹の研究は長崎図書館へ、戦国中国史の研究は山口図書館といったように島根県における古代・中世・近世の研究郷土出身の学者・芸術家の文献、そうしたことは、島根県立図書館に行けば要求を満たしてもらえそうな図書館にしていたいただきたいものである。

そのためには、県当局はもちろんのこと、県民1人1人が物心両面の応援をして、質高きものに育てあげてゆこうではないか。

新装なった県立図書館誌上あんない

◇ 位 置

図書館は、松江市内中原町。元藩政時代のお花畑に建設、ここは県庁の西側に隣接して松江城を背景に、堀に面した清閑な地で、城山の緑につつまれた読書の場としてもっともよい環境の位置にあります。

◇ 館内案内

<1階> ホール

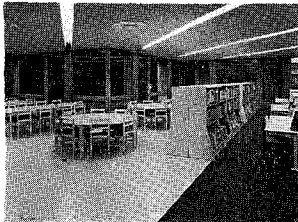
ホールには、新聞コーナーや展示コーナーがあって、日々の新聞が自由に読めたり、図書館資料に関連した展示物などが鑑賞できるようになっています。

学生閲覧室

学生、特に高校生を対象にした室として、学習に必要な参考書や辞書などを配架して学習や研究の場として利用できるようになっています。

小中学生閲覧室

小中学生を対象とした課外読物のほか学習に必要な図書約5千冊を、幼児や小学生の低学年、高学年、中学生の3つのコーナーにそれぞれ分けて配架し閲覧できるようにしています。



視聴覚室

映画フィルムやスライド、録音教材など視聴覚資料を貸出しするほか、レコードやテープによる個人鑑賞のためのブースも整備し、利用できるようになっています。

館外奉仕室

約1万5千冊の図書が収容できる館外活動用書架を設け、自動車文庫、モデル文庫など各種文庫を団体やグループに貸出しをする室です。

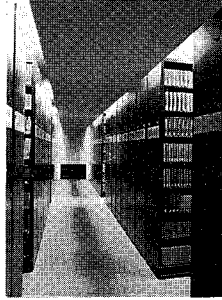
集 会 室

100名が収容できる集会室では講演会や、講習会、研究会、映画会、レコードコンサートなど開催できるようになっています。

喫 茶 室

この室には売店が設けてあり、閲覧者の休憩や食事に利用できるようになっています。

書 庫



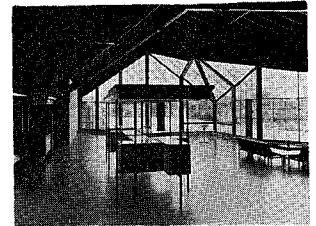
電動式書架（エレコンパック）のある。日本でも数少ない（山陰でははじめて）最新式書架のある書庫です。

この書架は密集して並んでいる書架で従来の書庫のように各書架ごとに通路がありません。この電動書架には、それぞれの書架にスイッチボタンがありボタンを押すと書

架が移動し、通路部分が開き必要とする図書をとり出せる仕組みになっています。

<2階> 中央カウンター

ここは2階を利用する閲覧者の受付や、読書相談をしたりまた書庫にある図書の出納、館外への個人貸出業務やまた閲覧者のコントロールをする図書館と閲覧者を結ぶ窓口となるところです。



目録コーナー

図書館に所蔵しているすべての図書をカードにより選択し、閲覧できるよう図書目録がこのコーナーに整備してあります。

目録には次の2つがあり、分類目録でも書名目録でも閲覧したい図書が選択できるようになっています。

ブラウジングコーナー

入館している人びとが休憩したり、また文化を語ったり、市民生活について話し合ったりすることができるいわば自由な広場です。またこのコーナーには雑誌架などもおかれていて自由に見ることができるようになっています。

一般閲覧室

一般成人（大学生を含む）を対象にした閲覧室で開架書架室に接したところにあり、開架書架室や書庫にある図書を借り出して閲覧するようになっています。

開架書架室

一般によく利用される図書を、総記、哲学、歴史、社会科学、自然科学、工学、産業、芸術、語学、文学に分けて約1万5千冊配架してあり、利用者が直接手に取り自由に選ぶことができるようになっています。

この図書は、一般閲覧室で読書の利用はもちろん中央カウンターで手続きすれば職場や自宅に持ち帰って利用することができる館外個人貸出しもできるようになっています。

レファレンス室（参考図書室）

図書のうち、主として事典、辞書、ハンドブック、統計書、地図、書誌、名簿など基本図書や参考図書が集中して配架された室で、ここには調査、研究あるいは実務や社会生活するうえで知りたいこと調べたいことがあるという人たちのために相談を受けるところです。ここには専門職員（レファレンサー）がいて、解決の糸口を発見できるように助言したりします。

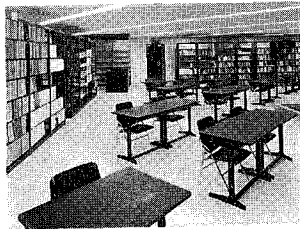


産業資料室

産業に関する資料、特に特許公報、実用新案、商標、意匠公報類の資料が配架され島根県に1カ所しかない地方閲覧所としてそれぞれ分類整理してあり閲覧はもとより相談にも応ずるようになっています。

郷土資料室

郷土に関する歴史的資料や、県勢（産業、行政、文化など）を伝える資料が配架されていていわば郷土に関するすべてを知ることのできる資料室です。



特別閲覧室

長期にわたっての研究、調査等特別な利用者のための室で執筆やとりまとめのため他の閲覧者に迷惑をかけないで研究調査をすることができるようになっています。

利用案内

- ◆開館時間 9時—17時まで
ただし、小中学生室・学生室は火曜日から土曜日まで13時—17時まで日曜日は9時—17時まで
- ◆休館日 毎週月曜日、国民の祝日
毎月末日（ただし月末が日曜日のときはその前日）
年末年始（12月28日から翌年1月4日まで）
図書整理期間（春秋それぞれ10日以内）

寄贈図書紹介

昭和43年4月1日から10月4日までにご寄贈いただいた図書です。これは当館の資料として受入れ県民のみならずさまの利用に供します。

紙上をかりて厚くお礼申し上げます。

＜総務課受入係＞

図 書 名	寄 贈 者
小泉八雲	梶谷泰之
うす茶器	藤間 享
山陰茶道史考	山野辺慶一
浮世絵版画の様式	中野忠明
読書感想文集	音羽 融
郷土資料目録	出雲図書館
松江1968	松江市
昭和40年国勢調査報告など	総理府統計局
大分県の百年	大分県
子どもの心を育てる良書目録	広島市児童図書館
亀嵩村誌	山根基三
風雲月山城など	益井哲朗
山陰古戦史	陸上自衛隊米子駐とん修親会
郷土資料解説目録	新潟県立図書館
島根県中学校教育20年史	教育庁総務課
島根の百年	NHK松江放送局
考える読書	音羽 融
私の足あと	内谷芳夫
月光	青木としゆき
島根の園芸特産	農林部特産課長
地方選挙結果調	公明選挙連盟
島根県統計書など	県統計課
京都市町村合併史	京都市
全国遺跡地図（福岡県、北海道、石川、鳥取、奈良、宮崎、兵庫、新潟、福井県）	文化財保護委員会
島根県高等学校教育20年史	県教育庁総務課
全国都道府県市町村人口総覧など	総理府統計局
日露戦史写真帖	細田重雄
日本の祭祀	星野輝興先生遺刊行会
婦人労働の実情	島根婦人少年室

なお、以上のほか新館開館用図書として次の出版社から計616冊いただきました。

数研出版 101、文理書院 100、ホプラ社 50、園山書店 42、聖教新聞社31、日本経済新聞社30、鶴書房29、学習研究社29、コロナ社28、徳間書店、新潮社、有信堂、日本教文社、養鶏之日本社、雲華房、同文館、オーム社、文化服装学院出版局、日本ヴォーグ社、共立出版、中央公論社、山海堂、文英堂、筑摩書房

寄贈雑誌（郷土出版のおもなもの）

石見詩人、開眼、貝、からさで、群緑、五風、湖笛、山陰詩人、山陰、山陰コスモス、光年、城、新月、島根タイムズ、白魚火、新樹林、地帯、二十五年、緑野

＜県立図書館友の会会員募集！！＞

県立図書館の新館落成を契機に、このたび友の会を結成することになりました。

図書館と利用者のつながりを深め、図書館利用の便宜をはかることを目的としています。会員は「図書館だより」の送付をうけたり、友の会主催の各種講座や鑑賞会、友の会の例会などに参加できたり、また、図書館資料や文献等の複写料金の割引などいろいろな特典がうけられることになっています。詳しいことは県立図書館友の会係までお尋ねください。



＜新設文庫のおしらせ！！＞

本年度新しく次の文庫を設定し、近くみなさんのところへお届けする予定です。

◇ 家庭文庫、青年産業文庫

この文庫は集団学習や、各種学級活動などのテキストや副読本として利用できる文庫です。

利用については、各市町村教育委員会を通じて各教育事務所に申し込んで下さい。

◇ へき地こども文庫

へき地指定校の児童、生徒を対象に1セット30冊を一定の期間ずつ各学校に貸出する文庫です。

利用については、各市町村教育委員会に申し込んでください。

第22回 読書週間

主催 { 島根県立図書館
読書推進運動協議会

期間 10月27日(日)から11月9日(日) (文化の日を中心に2週間)

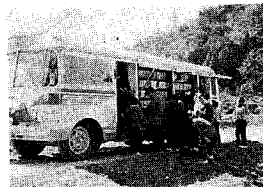
標語 あかるい家庭、たのしい読書

呼びかけ 読書の仲間を作しましょう

＜自動車文庫巡回日程＞

自動車文庫「しまね号」の次回巡回予定は次のとおりです。

コース名	月 日	巡回箇所(到着時間)
美鹿コース	10月28日	井田(12時40分)―都治(14時)―有福(15時50分)
	10月29日	木都賀(10時)―日原(13時30分)―蔵木(16時)
	10月30日	田野原(9時30分)―都茂(14時40分)―東仙道(16時)
	10月31日	岡見(9時)―黒沢(10時50分)―井野(13時30分)
邑智コース	11月4日	川戸(13時30分)―川本(15時40分)
	11月5日	地頭所(9時)―粕淵(11時)―浜原(13時30分) 都賀本郷(15時30分)
	11月6日	口羽(9時)―羽須那(10時30分)―都川(14時20分)
	11月7日	今市(9時)―雲城(11時20分)波佐(13時30分)―浜田学園(15時50分)
加賀八雲コース	11月26日	加賀(10時)―野波(11時30分)―別所(15時10分)
	11月27日	揖屋(9時30分)―母里(12時10分)―赤屋(13時40分)―井尻(15時10分)
日御碕、佐田コース	11月28日	佐田(11時)須佐(12時10分)―日御碕(15時20分)



平田、雲南コース	11月29日	鱒淵(10時)―加茂(13時)―八雲学院(14時30分)―玉湯(16時)
広瀬、頓原コース	12月3日	広瀬(10時30分)―比田(13時20分)―横田(15時20分)
	12月4日	馬木(9時10分)―田井(12時40分)―吉田(14時30分)―掛合(16時)
	12月5日	頓原(10時)志々(11時30分)―湖陵(16時)
美鹿コース	12月9日～12月12日まで	前回同様
邑智コース	12月16日～12月20日まで	前回同様

図書館ニュース

～新築落成記念行事～

明治100年記念にちなむ

三代教科書展や

レコードコンサートなど!!

県立図書館の新築落成を記念して、広く一般県民を対象に三代教科書展をはじめ、文化映画を見る会、およびステレオ音楽鑑賞会を開催する。

会期 昭和43年10月16日～17日
(教科書展は30日まで)

会場 島根県立図書館

◇ 明治・大正・昭和三代教科書展……(展示ホール及び学生室)

◇ 文化映画を見る会……(集会室)
(午前の部10時～12時 午後の部1時～3時)

題名 1. 昭和42年度芸術祭受賞、特別天然記念物
ニ尾瀬、

2. 昭和42年度教育映画祭最高賞文部省特選、特別記念物
ニ雷鳥、

◇ ステレオ音楽鑑賞会……(集会室)
(午後4時30分～6時30分、7時～9時)

- 曲目
- 箏曲 ニ六段の調
 - モーツァルト作曲フルートとハープのための協奏曲
 - マンドバニ楽団シャルメヌほか5曲
 - ワーグナ作曲 オペラ さまよえるオランダ人ほか4曲
 - ムソルグスキー作曲 ニはげ山の一夜
 - 映画音楽 ドノパン 珊瑚礁より ニ真珠貝のうた、ほか8曲
 - サムティラーの①ハーレムノクターンほか17曲

ジョンソン駐日(米)大使来館

新館落成を祝して図書を寄贈

新装なった県立図書館の落成を祝し、また日米親善文化交流の目的で新館オープン間もない17日 特別機で来県、翌18日午前9時来館、ただちに、島根県民のため有効に利用されるようにと5ケースの図書を館長に贈呈される。

新しい図書館の利用案内できる

新しい図書館の利用の手引として、利用案内を作製中のところ、このほど印刷を終わり希望者に配付することになった。

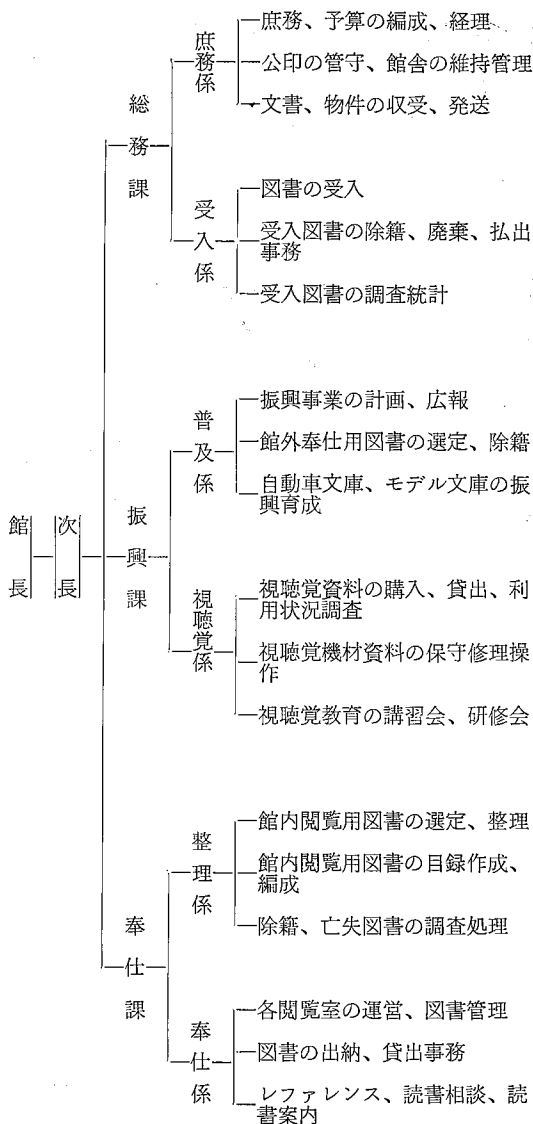
三つ折4色刷の美しいパンフレットで、これを見れば図書の閲覧のし方や、借用のし方、閲覧のための図書のえらび方などすべてがわかる便利なしおりで、図書館友の会をはじめ、関係団体等に無料配付するが、個人で郵送希望の方は、15円切手同封のうえ申込まれると折返し送付することになっている。

(県立図書館振興課普及係あて)

新館落成にともなう

あたらしい運営態勢きまる!

—視聴覚ライブラリーも図書館で—



新しい図書館 設備豆辞典

—その1—

—書架—

書架の総段数は6,090段、距離に換算すると5,481mになる。全書架の段数ごとに図書を見て歩くと5.5km歩くことになる。

—蛍光灯—

各閲覧室をはじめ事務室等全館内にとりつけてある蛍光灯は、556本、20,240W、距離に換算すると667m、松江市営グラウンドのトラック1周半の距離になる。この外丸型特殊電球59ヶがついている。